

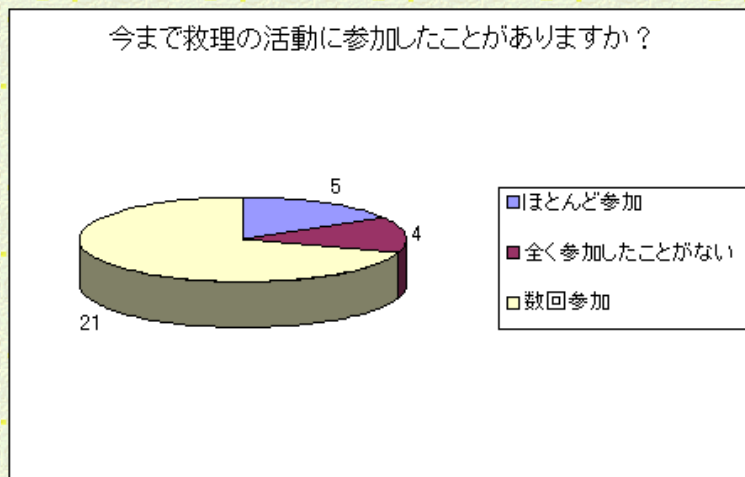
救理部アンケート集計結果



対象者	救理部員数 47
有効回答数	30

①今まで救理の活動に参加したことがありますか？

ほとんど参加	5	17%
全く参加したことがない	4	13%
数回参加	21	70%
計	30	-



参加理由と感想

- ・情報交換会ではいろいろな会話が聞けて面白かった。
- ・アロマセラピーの実習など、とても興味深く楽しかった。
- ・母の日キャンペーンに参加したことがあるが、知り合いが少なく、参加するには勇気がいる。
- ・接遇講習会に参加した。技師としてだけでなく普段の自分にもいかせるような内容で良かったと思う。
- ・接遇講習会に参加。救理主催ということで女性の参加者ばかりだったので、和やかな雰囲気だった。
- ・なかなか参加できず、すみません。
- ・最初の頃は新鮮な感じだったが、最近はやはりちょっとマンネリかなと思う。
- ・会員同士の交流もだが、地域の方々との交流ができて良かった。堅苦しくなくて、参加はしやすい。
- ・職場で女性は自分ひとりなので、他の職場で同様の状況の方と話ができて面白かった。
- ・よく考えて研修会などが行われており、内容がとても充実していてよい研修会だったと思う。
- ・参加可能だったため。
- ・会費以上の内容に満足した。
- ・楽しく活動できた。
- ・どの活動も意味があるもので、楽しく参加することができた。

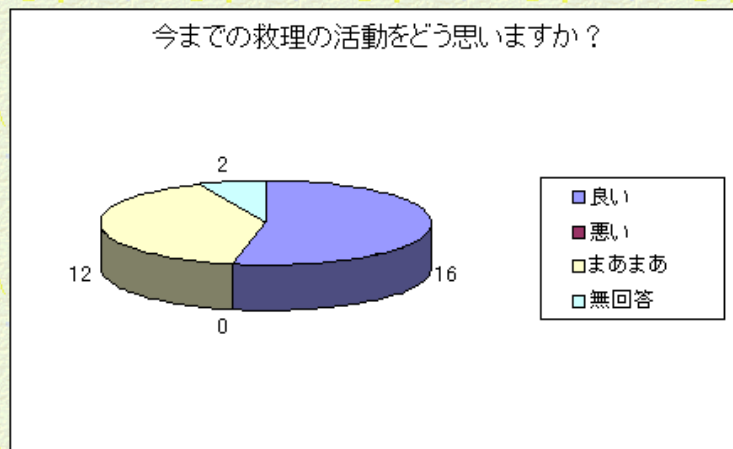
- ・参加していなかったところは面倒だとか思っていたが、実際に参加してみると想像以上に楽しく、また、他病院の方たちとの横のつながりも大切に思えた。
- ・勉強会と懇親会に参加。他の病院の女性技師さんと情報交換できて良かった。
- ・他院のいろんな人たちと話ができて楽しい。
- ・他病院の女性技師の方と接する機会はあまり多くないので、興味があった。楽しかったし、勉強になることも多かった。
- ・休日などは育児などでなかなか忙しくて参加できず申し訳なく思っている。子供が大きくなったら参加したいと思っている。
- ・それなりに楽しいから。学術的でないところが良い(かたひじ張らずに、が良いから)

不参加の理由

- ・仕事の都合で参加できなかった。
- ・子供がまだ小さいので参加したいものもあったが、時間の都合がつかず参加できなかった。
- ・他の活動に参加する時間的余裕がない。

②今までの救理の活動をどう思いますか？

良い	16	53%
悪い	0	0%
まあまあ	12	40%
無回答	2	7%
計	30	-



良いと思う理由

- ・あけぼの会とのジョイントの会や、母の日キャンペーン、チャリティーフリーマーケットなど、救理が活動を始めたことにより技師会活動では今までみられなかった方向に、少しは進むことができたように思う。
- ・あけぼの会とのキャンペーン活動や、フリマの参加などで一般の人に向けて放射線技師をアピールでき、良いと思う。
- ・県や支部の活動とは一種異なっているところもあっていいと思う(X線以外の内容や子供たちへむけた内容など)
- ・ボランティア活動が多いように思う。一人でボランティアを行うというのはなかなか難しいのでそのような活動に参加する機会を得られるのはとても良いことだと思う。
- ・‘仲間がいる’と思えるのが嬉しい。マンモグラフィー検診の必要性を訴える団体として、説得力があると思う。
- ・内容がとても充実していること、参加してみるととても勉強になる。
- ・異なる職業、異なる立場の方たちとの触れ合いの場を持っている所。
- ・いろいろと面白い企画があって良いと思う。参加はできないが会誌などで楽しく読ませてもらう。

- ・今までの技師会では考えられないことをやってくれた。救理の研修会等に参加したことで、放射線技師の知名度の低さがわかった。
- ・母の日キャンペーン等は意味があっていると思う。
- ・母の日キャンペーンやバザーなど、多くの人と接することができるので良いと思う。
- ・女性技師がたくさんいることや、マンモグラフィの必要性など一般の方々に周知させることができただけでも成果はあったのではないかなと思う。
- ・フリーマーケットやあけぼの会との行事など、意義のある(方向性のわかる)活動だと思う。最近のアロマ等は参加していないので詳しくはわからないが、自分に対するご褒美、ヒーリングで明日も頑張ろう！という、意義のあるものだと思う。

悪いあるいはまあまあであると思う理由

- ・フリーマーケットに出店することで技師の存在をアピールすると言うのは良しとして、女性部単独ですするというのは何故か？と思っている。
- ・アロマセラピーなど、関心事のテーマが多かった。
- ・ストレス解消法やフリーマーケットなど、とても興味深いものだった。
- ・女性でなければ思いつかない活動をしてきた事は意味のある事だと思う。
- ・活動が中央だけにとどまらず、県北や県南でもやっていたので、近場ということもあり、参加しやすい。こんなことでもなければほとんど交流することもない他支部の方と話げたのは良かった。また、身近な話題、女性ならではの企画は技師会のものより面白い。
- ・女性技師のみでの活動は、普段周りに女性が少ない分とてもよかった。
- ・一部の決まったメンバーだけの活動になってしまっていると思う。
- ・参加はできていないが、活動報告などを見るとがんばっていると思う。
- ・フリーマーケットに品物を出したりして少し救理の活動に参加できたことは良かった。
- ・‘特定の人だけの参加’が目立つのは良くない。女同士でも知らない者同士の距離を縮めるのは難しいと思う。はじめの一步を踏み出しやすい活動だったのか？反省も必要。
- ・企画自体は女性の視点からという感じのセミナーなどあって良いと思う。しかし、参加する方が限られて(固定されて)きているように思う。

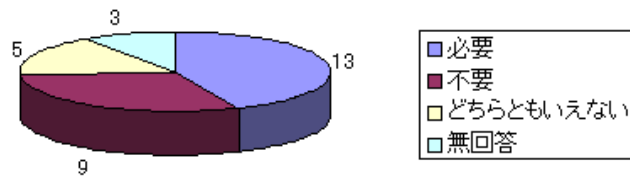
無回答

- ・女性らしい活動で良かったと思う。
- ・まだ一年目なのでよくわかりません。

③今後、救理部（女性部会）は必要ですか？

必要	13	43%
不要	9	30%
どちらともいえない	5	17%
無回答	3	10%
計	30	-

今後、救理部(女性部会)は必要ですか？



必要

- ・ 今後、どのような事を行って欲しいか、また、どのような形での存続を望むのか。
- ・ やはり性別が異なると事情が違ってくことは多くある。そのとき技師会上層部にたとえ世間話としてでも話が上がっていくルートは必要かと思う。
- ・ 他施設の女性と交流できる場としてやはりあった方がいい。
- ・ ストレス解消法やリラクセス法についての学習会をもっと行って欲しい。
- ・ はじめはどうか？と思っていた女性部も、何かしら形を確立してしまったのではないか。幹部の皆さんは仕切りが大変だと思うが、活動の回数を減らしても存続させてくれたらと思っている。
- ・ 私の職場は女性が一人なので頼もしい反面寂しい思いをしている。救理の活動を通して県内の女性技師の方と情報交換を行えることは重要であると思う。定期的に情報交換の場があるといいと思う。
- ・ 平日仕事をしていて日曜日も・・・と言うのはなかなか難しい。でも、なるべく参加できるようにしたい。存続して欲しい。
- ・ 今現在育休中なのですが、女性外来のマンモグラフィーなど男性技師が行っている。救理部に相談したりせずこうなりましたが、月一回の女性外来にヘルプに来て頂けるシステムがあれば助かる。
- ・ 他施設の技師同士の交流ができるという点では必要と思うが、女性部という小さいものではなく企画部の中で今までの活動を行って欲しいかですか。
- ・ 技師会の中の部会としては、あまり必要性を感じないが、情報交換だったり、そういう面ではせっかくおなじ県内で働く同じ職種の者同士関わり合いがあってもよいと思う。
- ・ 今まで救理に関わりのなかった病院等の方に、幹事を回して意外と楽しいということを伝えていけばいいと思う。また、頻回ではなく、たまにあればよい。
- ・ 今まであまり参加したことのない人たちにも呼びかける。バザーやアロマ教室など、楽しかったのでいいと思う(アロマなど、女性の好きそうなものなので・・・)

不要

- ・ 男性・女性区別する必要がないと思う
- ・ なかなか忙しくて参加することができないので、救理は必要とは答え難いです

どちらともいえない

- ・ 確かにその活動、存在自体は有意義だと思う。女性同士の交流、意見交換の場として機能するのならば存続には賛成。しかし、今までのように参加者の減少、偏り、執行部任せの状態が続くのであれば、意味はないと思う。
- ・ 女性部という形でなくてもいいのではないかと思います。
- ・ 白黒はつきりできない。判定する材料は今までの活動だけでしょうか？将来展望もあるはず。けれども自分がなにを望んでいるのか具体像を示せない。
- ・ 女性の交流、意見交換の場があるのは良いことだと思いますが、参加できていないので何とも言えません。

④その他、何でも良いので意見を聞かせてください。

- ・発足して7年ということもあり、毎年新人会員は入っているものの、メンバー（参加する）が固定化されつつある。また、女性だからと差別化するような業務内容は少なく、他の分科会の存在があることにより、特に女性部というものは必要が少ないように思う。
- ・10月予定の企画はとて女性部という色が出ていて楽しみにしている。
- ・日程が合わず、あまり参加できない。グループが出来ているので一人で参加しづらい。
- ・産休・育休・代替技師の派遣システムへの取り組み。
- ・すべての人を知らないなので、会員名簿があればよい。
- ・子供を撮影するときどんな工夫をしているか、他施設の情報が知りたいです。救理メンバーの交流も大切にしていきたい。
- ・立ち上げた頃は女性が一人という職場が多かったと思うが、技師の多い施設では複数人の所が多くなってきている。もう必要ない。
- ・みんなが参加するのが大事。
- ・私は子供が二人になり、土日待機もあり、HPもほとんどチェックできず、活動にも参加できていない状況で幹事の皆様にまかせっきりで申し訳ない気持ちはありますが、続けていただければ嬉しい。自分に余裕が出来たときに本格的にお仲間に入れていただきたい。
- ・出来れば参加したいと思っている。他にも行事がある場合は後回しになることがほとんど。勤務時間や経済的に難しいこともある・・・というのが現実かな・・・
- ・技師会へ。単位のみ研修会ばかりではなく、医療人として常識のある技師を育てる企画も考えてほしい。
- ・女性に限定せず、活動を続けてもらいたいと思う。
- ・役員の皆様お疲れ様です。活動内容で頭を悩まし、負担となるのであれば、解散もやむを得ないのかなと思う。ですが、存続するのであれば、まだ新人ですが積極的に参加していきたいと考えている。
- ・お疲れ様です。
- ・女性部会としてわけるのではなく、もう少し技師会の理事に女性を増やすというのはいかがでしょうか。
- ・救理の活動だけでなく、技師会の研修会にも全く参加できていない現状。育児をしながらでは中央まで行くのは遠くて辛いものがある。参加人数を考えるとしかたのない事だが・・・
- ・病院をこえた横のつながりって必要だとおもいますが・・・
- ・そもそも女性技師が少ないからといって男性女性を分けず、一緒になっていろいろな活動をしていけばよいのではないかと思います。現在の時点では女性技師の人数が増えたとは言ってもまだまだ人数が少ないのですが、これからは男女の人数比が半々になるのも時間の問題。あと、女性の場合は、どうしても男性とは異なり、結婚しなければ別ですが、これからの多くの若い女性技師は妊娠、出産、育児などがあり、どうしても男性に比べると負担がかなり大きいと思う（これは、救理の活動をもし続けていくのであれば、女性技師の数が男性に比べると現時点で非常に少ないことも、負担が大きくなる原因として挙げられると思う）。このような状況の中で救理を存続させていくことはかなり大変なことだと思うし、非常に困難なことだと思う。今までやって来た様な活動は、何も救理・女性部としてではなくても、もっと別な形でやろうと思えばできることなのではないか。また、救理としてではなく、何か、もっと別な形でもし今まで行ってきた活動を行うとすれば、その方が男性技師の参加者も増えると思う（これは、もし今まで救理で行って来た様な活動を行うとすればですが・・・）。いずれにしても、私は、男性・女性と分けること自体がおかしいと思うし、大変な思いをして研修会などを行っても、“参加者が少ない”“参加者が固定されてしまう”“男性が、それは女性部、救理でやることだから、オレは参加しない”・・・“女性技師の人数が少なく、育児や産休などもあり、救理の活動に参加できない・・・”etcなどと悪循環になってしまう。であれば、救理(女性部)は取っ払ってもっと気楽な気持ちで自然に男性技師、女性技師が一緒になって活動していけばよいのではないかと思います。救理がなくなるということは残念ではあるが、私はこう思う。そうした方がもっと自然な形で男性技師、女性技師が活動できるのではないかと。ご検討ください。
- ・技術系の勉強会が多い中、救理の活動は、男性たちの気がつかない活動を行っている点が良いと思う(フリマとかリラクゼーション、接遇とか)。もし、それらが必要ないというのであれば



ば、救理も必要なし？

- ・最近では技師会以外での勉強会も増えて地方から参加するのは大変。また、同じ職場から複数参加は業務上無理があり、その点救理はダブらないから参加しやすかった。
- ・色々忙しくて時間を割くのがつらい面もあり、行事参加は最近していない。遠いし・・・。HPはたまに見ている。インターネットでの活動なら便利は良い。

以上

『救理部アンケートについて』

会員の皆様に配布、記入していただきましたアンケート結果を今会誌に掲載させていただきました。集計に時間がかかりましたこと、さらに結果提示までお待たせいたしましたことを、この場をお借りしてお詫びいたします。

アンケートは、今後の救理の活動や部の運営に際し参考にさせていただきます。

貴重なご意見ありがとうございました。

そしてご多忙中にもかかわらずご協力いただきましたこと、心より感謝いたします。

